



製薬協

定例記者会見

2016年5月26日

日本製薬工業協会 会長

畑中 好彦

アジェンダ

I 会長就任にあたり

II 製薬協の取り組み

- ▶ 製薬協 産業ビジョン2025
- ▶ 2016年度事業方針
- ▶ イノベーションの促進による医療の質の向上
- ▶ 国際展開の推進とグローバルヘルスへの貢献

会長就任にあたり

新薬の開発を通じて社会に貢献する

- イノベーションの促進による新薬創出の活性化、加速化を通じて医療の向上に貢献し続ける

イノベーションが適切に評価される仕組みを実現する

- 薬価制度上の措置及び研究開発税制の維持・拡充を求める
- 経営の予見性を損なわない、安定的な事業環境の整備に努める
- 知的財産権による適切な新薬の保護を求める

国際保健課題解決に向けステークホルダーと協働する

- 継続的対話を通じ、医薬品へのアクセスの確保と持続可能な保健医療制度との両立を目指す

製薬協 産業ビジョン2025

世界に届ける創薬イノベーション

先進創薬で
次世代医療を牽引する
～P4+1医療への貢献～

健康先進国の実現を支援する
～心おきなく健康で
長生きできる社会に～



世界80億人に
革新的な医薬品を届ける

高付加価値産業として
日本経済をリードする

志高き信頼される産業となる

製薬協活動に反映する

事業方針策定における中長期的指針として活用し、
事業計画や各委員会の実施計画に反映する

ビジョン推進プロジェクトによる支援・調整

関係各委員会と連携し、アクションプランを策定する

- ◆ 世界最高レベルの創薬力獲得に向けた連携
- ◆ 薬剤給付・薬価制度の検討・提案
- ◆ グローバル視点のコンプライアンス推進
- ◆ 社会から研究開発型製薬産業への理解促進

2016年度事業方針

イノベーション※の
促進による
医療の質の向上、
経済発展への貢献

※:革新的な新薬の研究開発

国際展開の推進と
グローバルヘルス
への貢献

コンプライアンスの
更なる徹底と
国民の信頼感の
一層の醸成

産業理解の
一層の推進

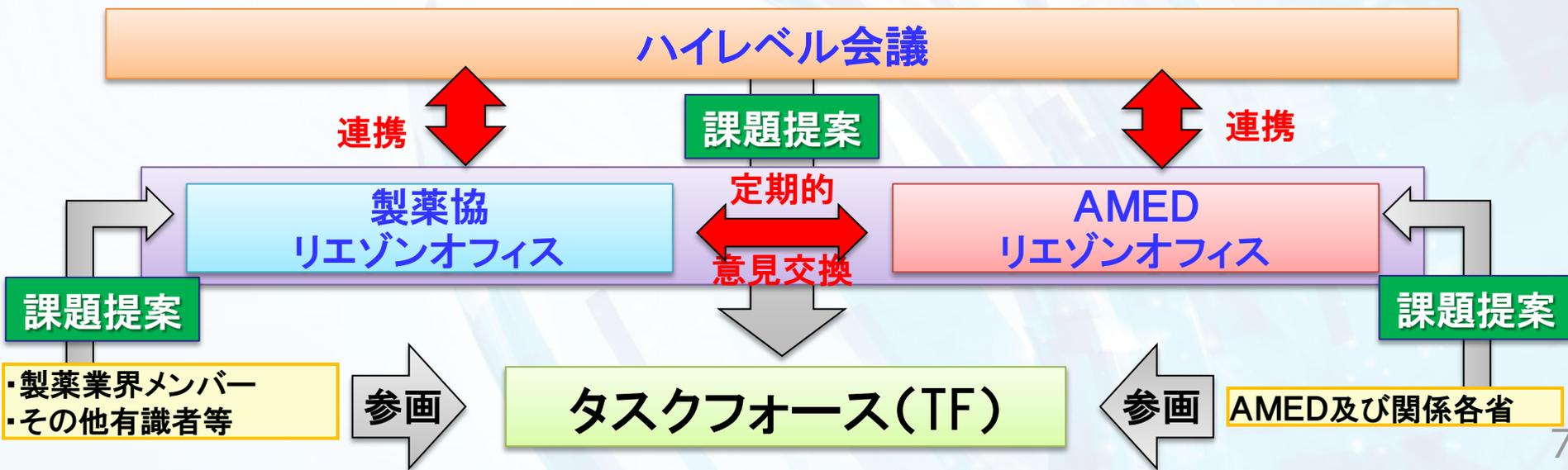
イノベーションの促進

日本医療研究開発機構(AMED)との連携

日本医療研究開発機構(AMED)との連携により、アカデミア発創薬の実現を推進する

- ▶ ビッグデータ・バイオバンク(情報+サンプル)の利活用
- ▶ 疾患登録情報を治験・臨床研究に最大限活用
クリニカルイノベーションネットワーク(CIN)
- ▶ アカデミアの先進技術と製薬企業の創薬ノウハウを融合
産学官共同創薬研究プロジェクト(GAPFREE)

革新的新薬の創製に向け、ハイレベル会議、製薬協-AMEDリエゾン会議を通じて積極的な意見交換を行う



イノベーションの促進

研究開発投資の推進

エコシステム確立によるイノベーションの創出促進、国際競争力の強化、成長戦略を実行し具現化するためには、研究開発税制の維持・拡充が不可欠

（平成28年度までの
乗せ措置）

【増加型】
試験研究費が過去3年平均より増加した場合の控除制度



【高水準型】
試験研究費の対売上比率が10%超の場合の控除制度

控除上限
合計で法人税額の40%まで控除可能
【増加型】・
【高水準型】
10%

（恒久本
措置）

【総額型】
控除額＝試験研究費の総額
× 8～10%

+

【オープンイノベーション型】
控除額＝特別試験研究費の総額
× 20又は30%

【総額型】
25%
【オープンイノベーション型】
5%

平成29年度税制改正に向けて着実に検討し、経団連等とも連携して研究開発税制の維持・拡充に向けて取り組む

イノベーションの促進

イノベーションの適切な評価



製薬協

新薬創出・適応外薬 解消等促進加算

イノベーションの成果を適正評価する制度として、制度化・本格実施に向けて取り組む

特例再算定制度

イノベーションに向けた取組を否定するものとして、次期薬価制度改革時に撤廃を求める

費用対効果評価

現行制度で評価されている医薬品の価値が、本件によって損なわれないよう求める

薬価改定

消費税率引上げに伴う薬価の実勢価改定及び薬価の毎年改定には、断固反対の立場を堅持

イノベーションを適切に評価し、研究開発型製薬産業の成長・競争力強化に資する薬価制度の実現に向けて検討・対応する

国際展開の推進

医薬品産業強化総合戦略、国際薬事規制調和戦略、PMDA国際戦略2015の官民一体での推進が必要



製薬協の取り組み

- ◆ APAC アジア製薬団体連携会議
「新薬の創出とアクセス改善に向けたAPACのさらなる挑戦」
第5回：2016年4月7-8日(於. 東京: 帝国ホテル)
- ◆ 官民共同による二国間定期協議の実施
日泰、日印、日韓、日中、日台 他
- ◆ アジア・トレーニングセンター支援
承認審査に係る各国当局のレベルアップを支援

国際展開

会員企業の海外事業拡大支援、当局との協働を推進する

国際協調

共通課題の解決に向け海外業界団体との協働を推進する

グローバルヘルスへの貢献

グローバルヘルス向上への社会的使命のもと、会員企業のグローバルヘルスに向けた意識を高め、感染症、NTD、NCD等の予防、治療に貢献する

- ◆ 政府、関係省庁、国際機関等との連携
- ◆ 新薬開発に向けて、製薬協会会員各社が持つアセット（人・物・技術・ノウハウ）を活用

G7、G7保健大臣会合、ならびにG20開催の機会を捉え、政府等へ課題の認知・対策・協働を求める提言を行う

- ◆ 感染症対策における国際連携と新薬の研究開発促進
- ◆ パンデミック時の医薬品供給、薬剤耐性、NTDs制圧

私たちは、新薬の開発を通じて社会へ貢献し続けます。
またそのためにイノベーションが適切に評価される仕組みづくりに対して提言を行ってまいります。
同時に、ステークホルダーの方々と対話を重ねることで、
医薬品へのアクセスと持続可能な保健医療制度との両立を目指します。



製藥協